

会 議 録

1 会議名

平成26年度第1回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【諮問事項】

諮問第10号 （仮称）たにはま保育園の設置及び有間川、長浜、下綱子、桑取保育園の廃止について（公開）

【協議事項】平成26年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成26年4月9日（水）午後7時00分から午後8時11分

4 開催場所

上越市立公民館 直江津地区館 谷浜分館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人は除く。）氏名（敬称略）

- ・委員： 安達ユミ子、市川明美、小林奎一、齊藤 豊、高橋誠一、坪田 剛、荷屋和夫、横田正美（欠席3名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、滝澤係長、星野主任
こども課：笠原課長、岩崎係長、大島主任

8 発言の内容

【滝澤係長】

只今から平成26年度第1回谷浜・桑取区地域協議会を開会します。本日の出席人員は8名です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを報告します。はじめに高橋会長から御挨拶をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

【高橋会長】

皆さん御苦勞様です。平成26年度も地域活動支援事業が継続されるということで、若干の予算の変更はありますが、例年通り地域の活性化のために一定の予算を市から配分されてやっていきたいと思ひます。3月15日には、昨年度の事例発表、地域の町内会長やいろいろな団体の代表から来ていただき説明会を開催しました。欠席者もいらっしやいましたが事務局から説明していただきながら地域の皆さんから関心を持ってもらうように事務局や私のほうからお願いしたところでは、今月には谷浜地区の町内会長連絡協議会等もありますのでそこでも地域の課題を拾い上げながら積極的に提案してもらえようをお願いしているところでは、皆さんからもぜひ地域の方と意見交換をしながら市の財政予算を有効活用できればと思ひておりますのでよろしくお願ひします。以上です。

【滝澤係長】

ありがとうございました。

それでは同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることとなります。高橋会長お願ひします。

【高橋会長】

それでは会議を始めます。まず、本日の会議録の確認ですが、齊藤委員にお願ひします。

それでは本日の議題に入りたいと思ひます。最初は諮問事項について審議したいと思ひます。(仮称)たにはま保育園の設置及び有間川、長浜、下綱子、桑取保育園の廃止についてです。担当の方お願ひします。

【こども課：笠原課長】

4月からこども課に参りました笠原と申します。よろしくお願ひします。

平成22年7月に地域協議会の皆様方にこの問題につきまして説明をさせていただいたことが始まりだったかと思ひます。これまでの間、地域の皆様と話を進めながらようやくここまで来られたかなど、皆様から建設的な御意見もいただきましたし土地所有者の方との間に入っていただき、いろいろな方のお力添えでここまで来れたなという思ひです。改めて感謝いたします。ありがとうございました。

昨年8月に着工した工事も順調に進んでおりまして、大体7月10日くらいの工期の中で順調に終わるのではないかと聞いております。今回の諮問内容について、「(仮称)

たにはま保育園」とさせていただいたのは、前回1月の地域協議会の際、安達副会長から「桑取」という名前を入れなくていいのか、というご提言があったと聞いております。その後2月に入りまして桑取の地域の皆様ともう1度御協議させていただきました。その結果「たにはま」でよろしいと満場一致の御意見をいただきました。まだ条例が出ておらず仮称になっていますが今後は「(仮称) たにはま保育園」という名前を使いまして議会へ条例を提案させていただきたいと思っております。設置と廃止ということですが、施設の老朽化と児童数が減少して集団保育が困難になったことからこの話が進んできたということです。4園を統合しまして新保育園を設置する、そのことが1点目になります。それから新保育園の設置に併せて4園を廃止させていただく、この2点につきまして議会へ条例提案をしたいと考えております。その議会に先立ちまして諮問させていただき、皆様方から検討していただければと思っております。

今回提示した資料をご覧ください。

- 資料「(仮称) たにはま保育園の設置及び有間川、長浜、下綱子、桑取保育園の廃止について (諮問)」

参考資料1 「新保育園及び既存保育園の概要」

参考資料2 「(仮称) 谷浜・桑取地区保育園新築工事 附近見取図・配置図」

参考資料3 「(仮称) 谷浜・桑取地区保育園新築工事 園舎1階平面図」

に基づき説明 —

先程委員の方より御提案いただいたのですが、地域の皆様から保育園が始まる前に中を見ていただく機会を設けたいと考えております。私からは以上です。御審議よろしく申し上げます。

【高橋会長】

ありがとうございました。この件に関しては計画段階から地域の方に説明をしてきたことなので委員の皆様も大筋は理解していただいていると思いますが、何か質問等ありましたらどうぞ。

【荷屋委員】

保育園が閉園して空き家になりますが、それについて具体的のどのようなように対応していくのか聞かせてください。

【こども課：岩崎係長】

はい。統合する4園の敷地につきまして個人の方からお借りしているものです。建物につきましてはかなり古くなっている木造の建物でございますので、市としましては地域の皆様に建物の再活用するお考えがあるかを伺いながら、もし地元の皆様でお使いになる予定が無いようなら建物は取壊しをさせていただいて、土地は地権者の方にお返しするという考えでおります。

【坪田委員】

その関連なんですが、今、地元の方が必要なければ取壊しという話もあったのですが、逆に老人会ですとか、何かの形で使いたいとなったとき、借地の関係もあったり、維持管理の話、維持管理ですと廃止状態になりますので地区の管理になるかと思うんですが、そうすると地域が小さいものですからどうしても借地云々になると金銭的にも伴わない部分が出てきます。その辺りの考え方はどうなりますか。

【こども課：笠原課長】

はい。その借地であるという部分も含めて地域の皆様方に御負担していただくという方向になろうかと思えます。それも含めて再活用されるかということの前提で私どもは話をさせていただきたいと思っています。

【高橋会長】

では、実質的には全部、地域負担になるということですね。

【こども課：笠原課長】

はい。

【高橋会長】

有間川保育園は去年、耐震工事したばかりですね。

他に何かありますか。

(なしの声あり)

それでは、諮問のとおり、答申するというところでよろしいでしょうか。

(よしの声あり)

ではこの件につきましては諮問のとおり、答申するというところでお願いします。

こども課の皆さん、御苦勞様でした。

— こども課退席 —

【高橋会長】

それでは、協議事項に移ります。事務局の方をお願いします。

【星野主任】

- 資料「平成25年度地域活動支援事業 谷浜・桑取区採択事業の概要」、
「平成25年度谷浜・桑取区地域活動支援事業 採択事業の活動の様子」
に基づき説明 —

【高橋会長】

ありがとうございました。

【滝澤係長】

続いて、平成26年度の募集の中身について説明させていただきます。

- 資料「上越市地域活動支援事業 平成26年度実施分 募集要項」に基づき説明
—

【高橋会長】

はい、ありがとうございました。それでは、26年度の採択方針と募集期間について事務局から説明がありましたが昨年度の報告も含めて皆さんで意見・質問等があれば出してください。最初にまず25年度の事業で採択したときと話が違うのではないかなんかというのがあれば。

【安達副会長】

去年、採択したものについてほとんどのところを見たのですが、本当にそれぞれの町内で取り組んだものが形になっているなと思いました。「ゆったり村のカタクリ散歩道」、これは確かに市の管轄地だったのですが提案があって採択されて昨日行きました。写真の上の階段のところから斜面一面がカタクリで、まだ、葉っぱとか出ていないから一面紫でした。それは階段ができただけでも違うんだなと思いました。そのとき、3組くらいのお客さんが居たのですが、市外の方も居て「すごいね」と言っていました。階段を上がっても靴も濡れず良かったです。西吉尾のシャッターを直したのも、喜びの声が耳に入ってくるので良かったなと思いました。私は大淵の伝統行事は見なかったのですが、照明が悪くてDVDもあまりよく撮れていないということなので、どのような感じか今度機会があったら見せていただきたいと思います。

【高橋会長】

谷浜小学校のグラウンドに草刈り機を購入されたのですが、これは他の地域で必要で

あれば使えるように周知していただけたらと思います。安達副会長からも話があったように委員の皆様も機会があったら実際に行われた事業を見に行かれると良いのではないかと思います。

【安達副会長】

谷浜分館の整備事業ですが、これからは市の執行事業はなくなるのですが、この間、会合があったときに椅子を乗せるキャスターが2つじゃ危ないし何とか3つにならないかと地元の方に言われました。一気に積むと結構な高さになるんです。収納の具合もあるから2台なんだろうけど、2台じゃ危険かなと思いました。

【高橋会長】

公民館で配慮してもらおうということで。

では、よろしいですか。これから平成26年度の意見や提案をお願いします。

去年は中学校のステージ幕を直していただいて良かったのですが、今年度からは市の執行事業は採択の方針から除外されているということで、谷浜・桑取区は以前、小学校のステージ幕を直したり、公民館の施設も直したり、市の順番でいけばなかなか回ってこないことをこのような形で活用してきたわけで、私自身個人的には市の執行事業をあえて外すとか外さないとか固定すべきではないと思っていたのですが、全市的な発想の中で地域によっては市の執行事業で予算を取られるのは困るという意見が地域協議会の中であつたので市が外したわけですが、その分独創的な事業を提案できるように皆さんからも御協力をお願いしたいと思います。

このまま行けば例年通り追加募集をかけながら、大体地域の皆さんの人間性も含めると、我先に物事をやるというところまでいっていないものですから、だからといって要望することが無いのかと言われれば決してそうではないと思うんです。ぜひ、一緒になって考えたいと思います。

今回も保育園が統合して立派になるのは良いのですが、子どもを連れてくるのにも課題が多いただろうし、中学校のバス路線の交通の問題も地域の課題としてあるということで、これはどのような解決策があるか難しいのですが、地域によっては独自にバスを走らせている地域もあります。地域活動支援事業を使ってやっている地域もありますのでまた皆さんで検討していただければと思います。

湯ったり村は今年の冬は休むという話から地域の皆様の声が上がって冬期休業は無く

して頑張っていたいただき経営的には上向きになっているという報告をされているようです。今後、もう少し人が集まれるような企画を進めていただければいいのかなと思っています。

他に何かありますか。

【荷屋委員】

物を作っても、現実的に維持管理が大変なんです。やってやればいけれど、後の管理は誰がやるのか、その辺りが難しい問題になってくると思います。どの町内もそうだけど、みんな年寄りになって、そこで作ったって管理が大変になってくる。そっちの負担が大きくなるのでみんな出さない。その辺りも会長が言うようにどの町内も集まって公共施設なんだよね。やっぱりそこを外されると大体提案は出てこない。出たって後が困る。そこまで考えないと。無駄なお金は使いたくない。やるのは簡単、維持管理が大変。若い人たちがこれからやるぞという意気込みがあればいいけどおそらくだめだと思う。その辺りでどのようにお金を使うか非常に難しくなってくると思います。

【高橋会長】

自主的審議事項で今年も引き継いだ子育て支援はどのような角度で子育てを支援してこの地域に子どもを多くするか、移住者を多くするかっていうのが大きな課題だと思うんですが、先般、中学の入学式では5人しか入学生がいないんです。中学1年生が5人しかいないというのが3年間続いているんです。中学校の運営そのものが子どもだけでは運動会もできないということで校長先生はだいぶ心配されている状況ですので、我々地域としても子育て支援との絡みで私はできればその議論の延長線の中で、小中学校の在り方を、場合によってはこの地域は小中一貫教育校になってしまうのではないかと、隣と合併するとなると名立区へ行くか直江津へ行くかになる。そうすると桑取から駅まで来てまた直江津、名立へ行くのは大変な負担になるわけですから、そういう点を考えながら子育て支援の延長線上の問題として、教育環境の問題と一緒に議論していかなくてはいけないと考えています。保育園は3か月児からみてもらえますから、勤務で産休が明けても預けられる状況になっていると思います。それでできればこの地域に住みたい、若い者も地域に残って子育てができるという状況になれば良いのではないかと思います。それも踏まえながら26年度の事業の中で考えられるものがあればと思います。

何かありますか。

【滝澤係長】

今程会長から子育て支援のお話ですとか、中学生の人数が少ないとかというお話がありました。私どももずっと提案を受けていますが、提案が少ないというのは書類の書き方が分からない、申請をしたことが無い、といった方はどんな事業が該当するかが非常に分かりにくい、偉大な事をしなければ該当しないのではないかと考えている方もいます。ですが事務局で相談を受ける際には、地域の人たちが身近で悩んでいることが提案になってくれば地域の課題も解決できるのかなと考えています。提案したことがない人に事務局へ行って相談してくればいいといっても難しいと思います。ですので委員の皆様をお願いしたいのはそういった声があったときに私どもに連絡いただければ私どもが地域に入り事業の説明をさせていただきますし、その中でこういった悩みがあるという話があれば具体的な相談を受けることもできます。この募集期間の間、そういった視点を持っていただいて地域の皆様にPRしていただければ有難いと思っています。

【高橋会長】

ありがとうございました。

【安達副会長】

すぐには桑取・谷浜に住む人も増えないし、若い人も帰ってくるということも今日や明日ではないわけで、桑取・谷浜で住んでいる人が年寄りを中心にして元気になれるような事業も大事ではないかと思うんです。西戸野なんか盆踊りとかすごい賑やかですよ。有間川はその音が刺激になってお手本なんです。遠くに行っている人も、お盆に帰ってくるとか正月に帰ってくるとか祭りに帰ってきて一緒に楽しもうというような事業も大事じゃないかなと思うし、みんなで声掛けてもらって事業を有効に、市のお金を使うってこと。

【小林奎一委員】

昔、大宮に住んでいた時に近くの町内で60歳になったら自動的に老人会に入ることになっていました。ですがここに来たら自分も入っていないし、元気な人は老人会入らないんですよ。

【安達副会長】

この間、他の集落で65～70歳くらいの人達に入ってくれと声をかけられて入ったんです。そしたら80歳くらいの人達が「もういられないわね」と言って一気にやめて

しまった。

【小林奎一委員】

逆にきちっと組織にして強制的に入会させて。

【安達副会長】

やっぱり若い人も入ってないってこと。

【小林奎一委員】

ほとんど入っていない。動ける人は入っていないです。

【高橋会長】

老人会は有間川・丹原で新和会があって、南部が和泉会の第一、第二があって、桑取があって、長浜は若い人たちがばかりになって組織が無くなっているんです。そこは結局、面倒をみる人がいないとか面倒くさいとかになって、私もたまたま町内会長をしながら60歳を過ぎてすぐ老人会の方からゲートボール場の問題等の相談を受けました。老人会に入らないとゲートボールクラブにも入れないんです。老人会の中のゲートボールクラブですから。25年度は地域活動支援事業でゲートボール場の支援をしたり、24年度も高住のゲートボール場のフェンスが壊れそうになっていたのを直したり、そういうことで老人会の皆さんは地域活動支援事業について理解してきています。

【小林奎一委員】

65歳から高齢者ですからある程度自動的に入会したほうが。

【高橋会長】

65歳だとまだ仕事がありますから、聞くところによるとばあちゃんが入っているから息子と一緒に入るわけにはいかないって人もいますよ。そんな関係もあったりして小林奎一委員が言われたように輪投げは谷浜の和泉会の方々が一生懸命やられていて、上越市の大会でも入賞や優勝するくらい頑張っているんですよ。ですから、そういう意味では、安達副会長が言われたように冬期期間の体力作りで町内会館で太鼓の運動をするということで輪投げをする人は他の町内から講師を呼んで一緒にやってみたり。

【安達副会長】

老人会の活性化というところでは桑取はどのような働きかけをしていますか。

【齊藤委員】

基本的に老人会は60歳からってことにしています。でも60歳からすぐ入るって

う方は少ないみたいです。

【小林奎一委員】

私は67歳ですが声もかからないです。

【安達副会長】

それは今度皆さんに会のことをお知らせしてっていうのは会長名で出すってのはどうですか。

【高橋会長】

桑取の老人会の旅行は2泊3日なんです。谷浜は1泊2日の旅行しているんです。そういう点でも旅行の在り方も違いがあるのですが、60歳や65歳くらいの人に合うのかっていったらそれは活動の範囲で。

【小林奎一委員】

組織としては各町内でやっているのですか。

【高橋会長】

南部は上、下でやっている。

【荷屋委員】

和泉会は各町内に役員がいる。その後は会員。

60歳や65歳になっても入る人がいない。だから年寄りばかりになっている。

【小林奎一委員】

逆に声もかけてないんでしょ。

【荷屋委員】

いや、そんなことないです。総会があるたびに「入ってください。入ってください」と、各町内で役員が回っています。

【高橋会長】

市老連で毎年4つ、5つくらいずつ老人会が無くなってきているそうです。そういう意味では子育て支援の話であったように高齢者も種目を考えれば集まる人がいるわけですから、人がいるのに入らないという話ですから、もう少し工夫すれば老人会活動も活性化する。今一番、ゲートボールが多いんじゃないですか。

【小林奎一委員】

市ではこども課はあるけど老人課みたいなものは無いのですか。

【安達副会長】

老人クラブ連合会の事務局が高田にあります。それぞれの老人クラブの形があるでしょうけど、若い方がお世話できたり楽しめるような老人クラブになればたぶん違うんだろうけど、有間川の方で65歳の方がいたのですが「やっぱりやめておく」って言ったんです。「なんで」って聞いたら、いろんな活動に「用があって出られない」って言ったら「若いのになんで出ないんだね。どこ行くんだね、何するんだね」って聞かれる。そういうのがあると「やっぱり入らない」ってなる。それは老人クラブだけではなくて地域の体質であって関心を持っていいことなんだろうけど、でも「それが嫌だ」っていうことを具体的に聞いたりします。以前、中桑取の健康教室へ行ったのですが、そのときに65、6歳の人達が先頭になって踊って80、90歳の人達が喜んでくれたから、そうやってお世話するような具体的な役割があれば会員になるかもしれないですね。

【高橋会長】

ではこれからもぜひ、今年の自主的審議事項の中でもいいし、支援活動として老人のゲートボールと輪投げを中心にやっていますけども、公民館でもカルチャースクールをやっていますからそういうものも含めて考えていきたいと思っています。

日程は30日に締切るものですからそれまでに出了たものはできるだけ早く執行していったほうがいいのではないかと思いますので。

【小林奎一委員】

30日に出了たものの資料は私たちの手元にいつ頃届きますか。

【滝澤係長】

早くて7日頃です。

(日程調整)

【高橋会長】

では、事務局のほうから事前に資料を届けてもうわけですから、委員の皆さんは最低限きちっと目を通していただいて、それぞれの立場で公平性なり必要性なりの尺度から見てもうどうなるかという判断をしていただいて、前回も言ったように最終的には採点が必要になればそのことを考えながら、逆に事務的に点数をつけてからどうのこうのだけじゃなくて公共性の問題はどうかとか、そういう観点で集中的に意見交換ができればと思います。

では、次回は5月16日ということをお願いします。

他に、なにかありますか。事務局もなにかありますか。

【滝澤係長】

ありません。

【高橋会長】

では、無ければ終わりにしたいと思いますよろしくお願いします。

(異議なし)

御苦勞様でした。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。